

Elazzio

SEAT COVER



MITSUBISHI

eK X EV

NISSAN

SAKURA

専用シートカバー取付説明書

7508/7509

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

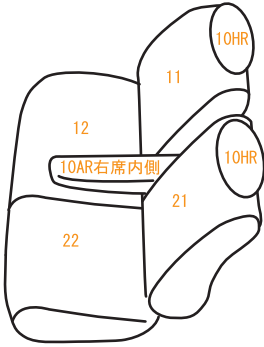
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

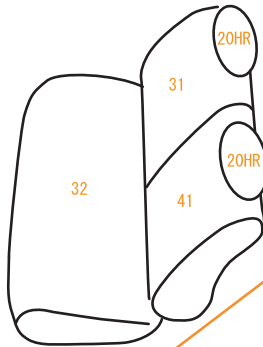
INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P～4P
1列目座面の装着方法	…> 5P～10P
1列目背もたれの装着方法	…> 11P～13P
2列目座面の装着方法	…> 13P～16P
2列目背もたれの装着方法	…> 17P～18P
ヘッドレストの装着方法	…> 19P～20P
アームレストの装着方法	…> 21P
完成図	…> 22P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 23P～24P

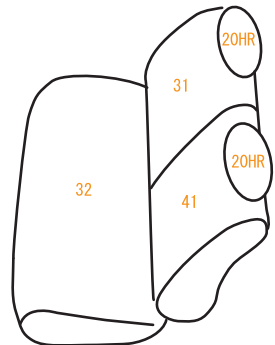
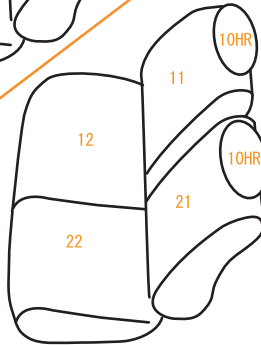
本製品シート形状とパーツの名称



品番 EM-7508



品番 EM-7509



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (14mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッチ専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

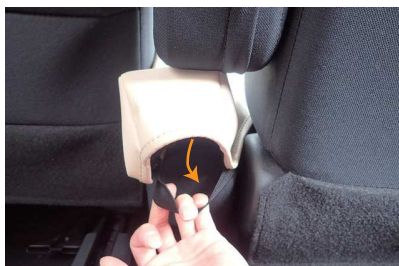
Step 1

1 列目座面の装着方法

運転席座面の取り付け方



- 1** 始めに、シート背面下部の生地を固定しているゴムを外します。生地はゴムの先に付いているブラフックで固定されている為、ブラフックを外す事で生地の固定が外れます。



- 2** アームレスト下の部分にカバーをかぶせませす。カバーにはゴムが付いている為、ゴムを通して下さい。



- 3** 2番でかぶせた部分を基点に、図の手順でカバーをかぶせませす。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みませす。
※背もたれの角度を調節し、入れ込みやすい角度で行って下さい。



- 5** 入れ込んだ生地を、背面側から引き出ませす。
配線が通っている場合、カバーのくぼみで配線をかわすようにして下さい。



- 6** カバー外側面の付け根の生地が付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けませす。



7 5ページ6番で金属フックを取り付けたゴムを、生地ごと隙間に入れ込みます。



10 7番と8番で入れ込んだゴムをシート裏から引き出します。



8 カバー内側面の付け根の生地に付いているゴムを、生地ごと隙間に入れ込みます。



11 外側のゴムと内側のゴムを金属フックで繋ぎ固定します。



9 カバーのシートベルトバックル収納部分に付いているベルトを隙間に入れ込みます。



12 5ページ5番で引き出した生地に付いているベルトと、9番で隙間に入れ込んだベルトをシート裏から前側に通します。



- 13** ベルトをシート前側から引き出します。



- 14** 13番で引き出したベルトと、カバー前側に付いているバックルを固定します。
詳しい固定方法は15番を参照して下さい。
※ベルトはスライドレバーの上を通して固定して下さい。



- 15** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 16** シートリフター（ハイトアジャスター）レバーを外します。
レバーには丸いフタが付いている為、付属のヘラ等を隙間に入れ込み、フタを外します。
※レバーを外す前に、必ずシートを一番高い位置にして下さい。



- 17** フタを外すと2本のネジでレバーが固定されている為、ドライバー等を使用し、固定を外します。



- 18** 外側面のカバーの裏に付いているブラックを、シートのフチに引っ掛けて固定します。



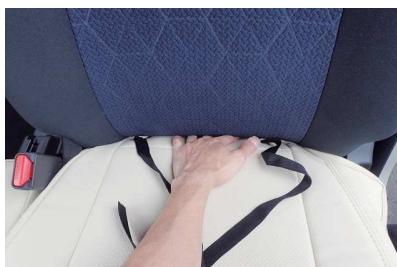
19 外側面の完成図です。



22 カバーをシートの前側からかぶせます。



20 7ページ17番で外したレバーを元に戻しカバーのラインを整えます。
1列目運転席座面の完成です。



23 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
※背もたれの角度を調節し、入れ込みやすい角度で行って下さい。

助手席座面の取り付け方



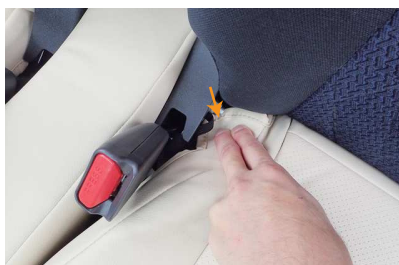
21 運転席側と同様に、シート背面下部の固定を外します。



24 入れ込んだ生地を、背面側から引き出します。
配線が通っている場合、カバーのくぼみで配線をかかわすようにして下さい。



- 25** カバー外側面の付け根の生地に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付け、生地ごと隙間に入れ込みます。



- 26** カバー内側面の付け根に付いているゴムを生地ごと隙間に入れ込みます。



- 27** 25番、26番で入れ込んだゴムをシート裏から引き出し、金属フックで繋ぎ固定します。



- 28** 8ページ24番で引き出した生地に付いているベルトを、シート裏から前側に通します。図のようにシートアンダートレイ装備車はトレイの上にベルトを通して下さい。



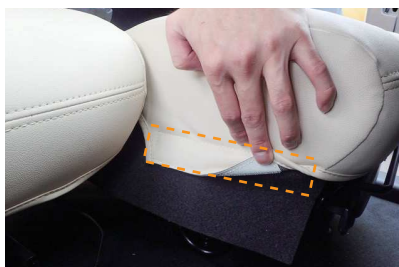
- 29** 前側に通したベルトと、カバー前側に付いているバックルを固定します。詳しい固定方法は、7ページ15番を参照して下さい。
※ベルトはスライドレバーの上を通して固定して下さい。



- 30** カバー外側面に付いている固定部材を、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込み固定します。ヘラ等で隙間を開け、指で固定部材を押し込むと簡単に入り込みます。



31 外側面の完成図です。



32 内側面の生地裏に付いているマジックテープを純正のシート表皮に直接貼り付け固定します。



33 カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。

Step 2

1 列目運転席背もたれ装着方法

アームレストが無い場合は3番からになります。



- 1** アームレストを外します。
始めに、アームレストのファスナーを開けます。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2** ファスナーを開けて純正表皮をめくるとボルトが見えるため、ソケットレンチ（14mm）を使用しボルトを外します。



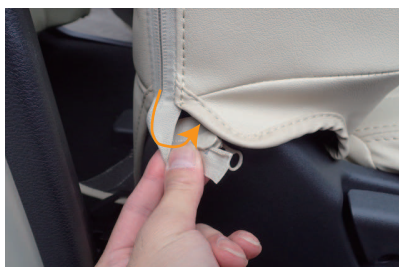
- 5** 入れ込んだ生地を、背面側から引き出します。
配線が通っている場合、カバーの切れ込みで配線をかわすようにして下さい。



- 3** カバーのファスナーを開けて、シート全体にカバーをかぶせます。



- 6** 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。
※この時、5ページ1番で固定を外した生地をめくり上げ、カバーの中に入れ込んで下さい。



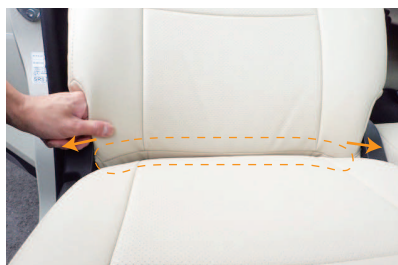
- 7 ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



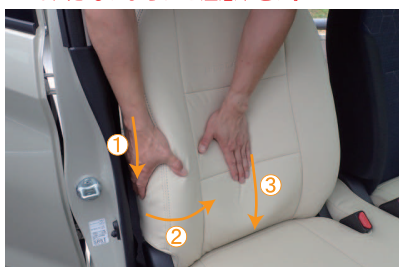
- 10 引き出した生地についているマジックテープと、カバー背面下部の生地裏についているマジックテープを固定します。



- 8 カバーの加工穴から、ヘッドレストの台座を取り出します。
本革を使用したカバーは、生地が伸びにくい為、台座を取り出す際に生地が裂ける場合があります。台座に隠れない程の裂け目が入らないようにご注意ください。



- 11 背もたれを倒し、図の部分（シートの根本）にシワが無い事を確認して下さい。シワがある場合は左右にシワを伸ばし、図のように生地が張るようにして下さい。



- 9 カバーをシートに馴染ませます。図のように、①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を11ページ5番と同様に背面から引き出します。



- 12 カバー背面下部の生地についているゴムに付属の金属フックを取り付けます。

Step 3

2列目座面の 装着方法



- 13** 12ページ12番でゴムに取り付けた金属フックをシート裏で固定します。固定箇所は決まっていない為、程よくテンションが掛かる位置に固定して下さい。



- 14** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。



- 1** 始めに、作業を行いやすくする為、ラゲッジボードを外します。



- 2** シートを一番前にスライドさせて、ラゲッジ下の工具等が入っているボックスを取り出します。



- 3** カバーを裏返し、シートのラインに合わせます。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 7** 5番で引き出した生地に付いているベルトをシート裏から前側に通します。



- 5** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。図の赤線の位置に配線がある場合、配線を避けるように引き出して下さい。



- 8** 通したベルトを前側から引き出します。



- 6** シート全体にカバーをかぶせます。



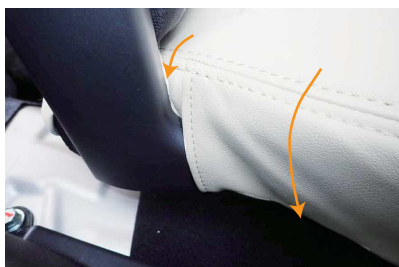
- 9** 引き出したベルトと、カバー前側に付いているバックルを固定します。詳しい固定方法は7ページ15番を参照して下さい。



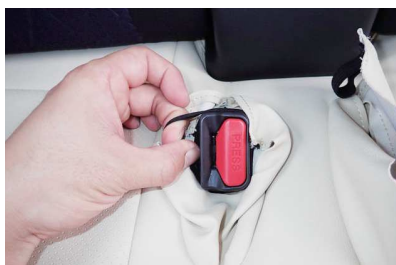
- 10** シートの根本の生地を、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



- 13** ヘラ等を使用し、チューブ状の取付部材が付いている生地を、プラスチックカバーとシート中央の軸部分の隙間に入れ込み固定します。



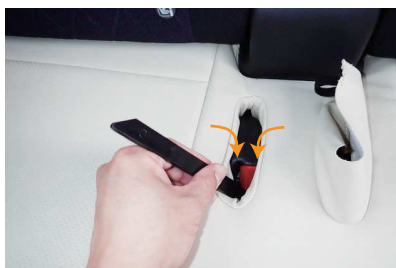
- 11** 付け根部分は図のようになります。



- 14** シートベルトバックルを加工穴から取り出し、生地に付いている2本のゴムをシートベルトバックルに通します。



- 12** カバー両サイドに付いているベルト（片方3本の計6本）をシート裏の金属部分に巻き付けて固定します。



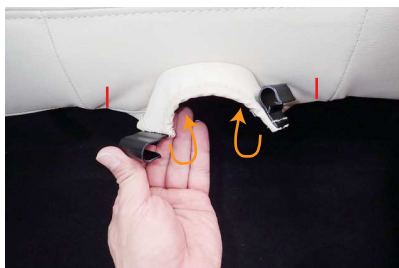
- 15** ヘラ等を使用し、シートベルトバックル収納部分に生地を入れ込みます。



- 16** シートベルトバックル部分は図のように仕上がります。



- 19** スライドレバー部分は図のように仕上がります。



- 17** カバー中央部のブラックが付いた生地をスライドレバーの内側に通します。ブラックはシート裏（図の赤線辺り）にある金属フレームに引っ掛けて固定します。詳しい固定箇所は18番を参照して下さい。



- 20** カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。



- 18** ブラックは、図のシート裏の金属部分に引っ掛けます。

Step 4

2列目運転席側背もたれの装着方法



- 1** 始めに、肩口のレバーの固定を緩めます。レバーを上げるとネジがあるので、ドライバー等を使用し緩めます。
※レバーは車種によって個数が異なりますが全てのレバーの固定を緩めて下さい。



- 2** ファスナーを開け、シート全体にカバーをかぶせます。



- 3** カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。



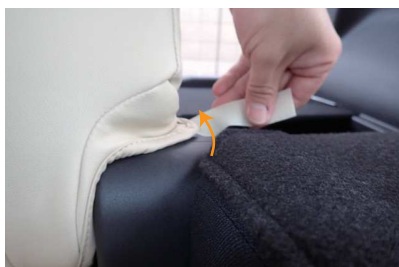
- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
※背もたれの角度を調節し、入れ込みやすい角度で行って下さい。



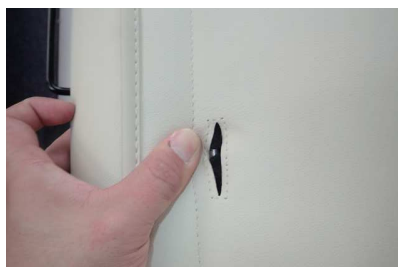
- 5** 入れ込んだ生地を、背面側から引き出します。
図の箇所（運転席のみ）に配線がある車はカバーの切れ込みで配線をかわします。



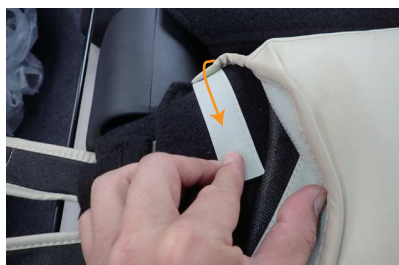
- 6** 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。



- 7** カバー内側のマジックテープの付いた生地を背面側にまわします。



- 10** シート背面のチャイルドシート固定フックの位置と、カバー背面の加工穴の位置が合っている事を確認して下さい。ずれている場合はカバーを調整して、穴位置を合わせて下さい。



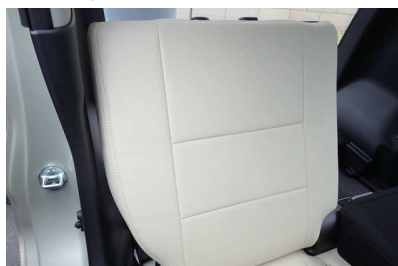
- 8** 背面側に回した生地についているマジックテープを、直接シートに貼り付け固定します。



- 11** 17ページ1番で緩めたレバーの隙間に生地を入れ込みます。運転席の中央部にレバーがある車は、図の位置が非常にきつくなっている為、注意して入れ込んで下さい。入れ込んだ後、レバーの固定を元に戻して下さい。



- 9** 17ページ5番で引き出した生地についているマジックテープと、カバー背面下部の生地裏についているマジックテープを固定します。



- 12** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 5

ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト



- 1** カバーを半分程度裏返し、先端がきっちり合うようにカバーをかぶせます。



- 4** フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地と共に折り返して挟み込み固定します。



- 2** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5** 固定すると図のように仕上がります。



- 3** ヘッドレストをシートから外し、カバー前後に付いているブラフックを固定します。詳しい固定方法は4番を参照して下さい。



- 6** ヘッドレストをシートに戻し、カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト



- 7** ヘッドレストの前側からカバーをかぶせませす。



- 10** カバー前後に付いているブラックを固定します。
詳しい固定方法は、19ページ4番を参照して下さい。



- 8** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせませす。



- 11** ヘッドレストをシートに戻し、カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



- 9** ヘッドレストをシートから外し、カバー左右に付いているマジックテープ同士をヘッドレスト裏で固定します。

Step 6

アームレストの装着方法

アームレストが無い場合はこちらの作業は不要です。



- 1** カバーを半分程度裏返し、先端がきっちり合うようにかぶせます。穴が開いている方が内側（背もたれ側）です。



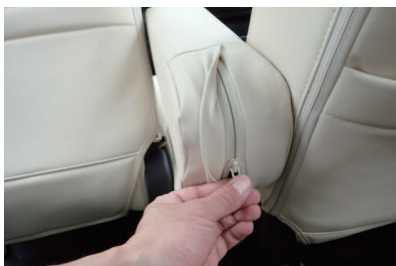
- 2** カバーをアームレスト全体にかぶせます。図のように内側にカバーを引っ掛けます。※最後にボルトで固定する為、外側はまだ最後までかぶせないで下さい。



- 3** 2番の状態のままアームレストをシートに戻します。



- 4** 先に、純正表皮のファスナーを閉じます。



- 5** 次に、カバーのファスナーを閉じます。



- 6** カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。

完成図

1 列目 >



2 列目 >



背面 >



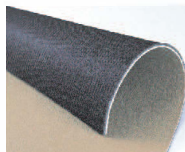


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

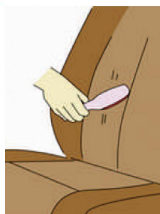
●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、柔らかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。



⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。

PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816